

尿路結石の治療のため当院に入院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>泌尿器科</u> 職名 <u>教授</u> 氏名 <u>大家 基嗣</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>
実務責任者	所属 <u>泌尿器科</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>松本 一宏</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者（大家基嗣）または実務責任者（松本一宏）までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦2000年1月以降に、泌尿器科にて尿路結石の治療のため入院し、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)、経尿道的結石碎石術(TUL)、または経皮的碎石術(PNL)を受けた方

2 研究課題名

尿路結石に対する治療効果予測モデルの作成

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室・慶應義塾大学病院泌尿器科
(共同研究機関) 入間川病院泌尿器科 研究責任者 宮原誠

4 本研究の意義、目的、方法

尿路結石に対する治療方法は、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)、経尿道的結石碎石術(TUL)、経皮的碎石術(PNL)と大きく分けて3つの方法があります。しかしどの治療法がそれぞれの患者さんにとって最も適切であるのかの判断は、ときに非常に難しいことがあります。もし各治療法による成功率や合併症の発症率を前もって予測することができれば、治療方針の決定の際、大いに参考になる

ものと考えられます。そこで本研究では、これまで結石治療が行われた患者さんの結石の位置・大きさ等のデータをもとに、碎石成功率や合併症発症率を予測する手法を確立することを目的としております。

5 協力をお願いする内容

患者さんの診療記録からわかる情報（年齢・既往歴・薬剤内服歴・CTやMRI等の画像所見・治療経過等）を用いさせていただきます。本研究のために追加の診察・検査を行うようなことはございません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会で許可された日～ 2028年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時、または倫理委員会に承認された破棄時点で完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>教授</u> 氏名 <u>大家 基嗣</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>
実務責任者	所属 <u>泌尿器科学教室</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>松本 一宏</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3825</u>